

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成20年10月2日 (2008.10.2)

【公表番号】特表2008-516283(P2008-516283A)
 【公表日】平成20年5月15日 (2008.5.15)
 【年通号数】公開・登録公報2008-019
 【出願番号】特願2007-535685(P2007-535685)
 【国際特許分類】

G 0 2 B 6/122 (2006.01)

G 0 2 B 6/12 (2006.01)

【 F I 】

G 0 2 B 6/12 A

G 0 2 B 6/12 F

【手続補正書】
 【提出日】平成20年8月13日 (2008.8.13)

【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

光デバイスであって、
表面を有する基板と、
前記表面上に配置される導波路と、
当該デバイスの結合領域において前記導波路に垂直に結合され且つ前記表面上に配置さ
れる共振器と
を具備する、光デバイス。

【請求項 2】

前記共振器が、前記基板にモノリシックに集積される、請求項 1 に記載の光デバイス。

【請求項 3】

前記導波路が、前記共振器の材料とは異なる材料を含む、請求項 1 に記載の光デバイス
。

【請求項 4】

前記導波路が受動的であり、前記共振器が能動的である、請求項 3 に記載の光デバイス
。

【請求項 5】

前記導波路が透明材料を含み、前記共振器が量子井戸を形成する複数の材料を含む、請
求項 3 に記載の光デバイス。

【請求項 6】

前記導波路が、
コア層と、
前記コア層を包囲するクラディング層と
を備える、請求項 1 に記載の光デバイス。

【請求項 7】

前記クラディング層が、前記結合領域においてより小さい径を有する、請求項 6 に記
載の光デバイス。

【請求項 8】

前記クラディング層の一部がテーパ状の径を有し、該径が、前記結合領域において最小であるように該結合領域からの距離に従って変化する、請求項 6 に記載の光デバイス。

【請求項 9】

前記径が断熱的に変化する、請求項 8 に記載の光デバイス。

【請求項 10】

前記導波路が、高屈折率導波路の特性を有する状態から B H 導波路の特性を有する状態まで変化する、請求項 6 に記載の光デバイス。

【請求項 11】

前記共振器が、

コア層と、

前記コア層の一方の側に配置される第 1 のクラディング層と、

前記コア層の前記一方の側とは反対の側に配置される第 2 のクラディング層とを備える、請求項 1 に記載の光デバイス。